

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度（2021年度）		授業科目	グローバル実践英語ⅡA（0292）
科目基礎情報						
科目番号	2E23		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	Two Sides to Every Discussion, English Grammar 23 Lessons, 速読英単語入門編, English Central					
担当教員	菊池 秋夫,岡田 みゆき					
到達目標						
あるテーマに対して、根拠を示しながら自分の意見を英語で言ったり書いたりできることを目指す。文法事項では仮定法・話法・無生物主語を学び、普段目にしている英文を文法的にその構造を確認する。オンライン授業の中で、ネイティブと情報交換や意見交換を行うことができることを目指す。						
ルーブリック						
		Ideal Level of Achievement (Very Good)	Standard Level of Achievement (Good)		Unacceptable Level of Achievement (Fail)	
Evaluation 1		Students are able to write and express clearly and concisely their opinions on a number of subjects, using appropriate vocabulary and grammar.	Students can express and write their opinions and ideas, with minimal errors.		Students are not able to express or write their opinions, in a logical or understandable way.	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー DP6◎						
教育方法等						
概要	この授業では、自分の考えを論理的に整理し、自分の伝えたいことが正しく相手に伝わるような語彙・文法を使って論理的に述べたりコミュニケーションがとれるようになることを目指す。					
授業の進め方・方法	English Centralの使用を継続し、その中の動画を活用してネイティブとの会話の回数を昨年より増やす。また、教室ではあるテーマについて賛否の根拠となる考えを英語で表現する機会を多く持てるよう、ペアワークやグループワークを取り入れる。昨年触れることのできなかった文法事項を学習し、定着させるためのドリルも行う。					
注意点	受け身の授業にならないよう、自分の考えを自由に述べることでできる雰囲気づくりに気を配る。また、授業中は文法事項などの複雑な説明を除いて、なるべく英語でのやりとりを多くする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction / 仮定法		仮定法を正しく理解し、自分の意図することを仮定法で表現できる。	
		2週	English Centralの動画を見て次週の会話の準備をする。 。 / 疑問詞と疑問文 / 否定		英語の動画を見て、語彙の意味や内容が理解できる。 疑問詞のある疑問文を正確に作る。部分否定や準否定が理解できる。	
		3週	English Central オンライン会話 / 時制の一致と話法（1）		英語で意思疎通ができる。 直接話法と間接話法への転換の方法を知る。	
		4週	English Centralの動画を見て次週の会話の準備をする。 。 / 時制の一致と話法（2）		英語の動画を見て、語彙の意味や内容が理解できる。 疑問詞を使った疑問文と使わない疑問文の内容を間接話法で表現できる。	
		5週	English Central オンライン会話 / 無生物主語の構文		英語で意思疎通ができる。 無生物主語を使った文を理解できる。	
		6週	English Centralの動画を見て次週の会話の準備をする。 。 / 代名詞		英語の動画を見て、語彙の意味や内容が理解できる。 様々な代名詞を学び、正しく使うことができる。	
		7週	English Central オンライン会話 / 前置詞、接続詞		英語で意思疎通ができる。 前置詞・接続詞の使い方を知る。	
		8週	前半まとめテスト / スピーキングテスト		仮定法・話法・無生物主語の構文に対する知識を活用できる。 与えられたトピックについて、自分の考えを英語で相手に伝えられる。	
	2ndQ	9週	English Centralの動画を見て次週の会話の準備をする。 Two Sides to Every Discussion（前半）		英語の動画を見て、語彙の意味や内容が理解できる。 与えられたトピックについて賛否の理由を理解できる。	
		10週	English Central オンライン会話 Two Sides to Every Discussion（後半）		英語で意思疎通ができる。 与えられたトピックについて自分の考えを論理的に表現できる。	
		11週	English Centralの動画を見て次週の会話の準備をする。 Two Sides to Every Discussion（前半）		英語の動画を見て、語彙の意味や内容が理解できる。 与えられたトピックについて賛否の理由を理解できる。	
		12週	English Central オンライン会話 Two Sides to Every Discussion（後半）		英語で意思疎通ができる。 与えられたトピックについて自分の考えを論理的に表現できる。	
		13週	English Centralの動画を見て次週の会話の準備をする。 Two Sides to Every Discussion（前半）		英語の動画を見て、語彙の意味や内容が理解できる。 与えられたトピックについて賛否の理由を理解できる。	
		14週	English Central オンライン会話 Two Sides to Every Discussion（後半）		英語で意思疎通ができる。 与えられたトピックについて自分の考えを論理的に表現できる。	

		15週	Presentation準備（オンライン会話より） Review		オンライン英会話で得たことを英語で表現できる。	
		16週	到達度試験 （答案返却とまとめ）		学習内容について問われたときに、正しく答えることができる。 与えられたトピックについて自分の考えを論理的に表現できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど）を適切に用いることができる。	3	
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	1	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3					

			書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
			収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
			あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	
			複数の情報を整理・構造化できる。	3	
			特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	
			課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
			グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	
			どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	
			適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	
			事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	
			結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	

評価割合

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Participation	Portfolio	Homework	合計
総合評価割合	70	20	0	0	10	0	100
Basic Ability	70	20	0	0	10	0	100
Technical Ability	0	0	0	0	0	0	0
Interdisciplinary Ability	0	0	0	0	0	0	0